

年度 2009 学期 後期	曜日・校時 月・2	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーション III (English Communication III)		
対象年次 2年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等)	2Td	科目分類	外国語科目(英語)
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 藤本 ゆかり /研究室: 非常勤講師控室 /TEL: 095-819-2078(全学事務室) /オフィスアワー: 授業終了後			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 基本的で実用的な英会話の表現を習得し、表現の基礎の定着を図る。話すことと聴くことの技能を身に付ける。ダイアログの暗記をするのみではなく、構文や文法に留意して、基本的な理解力を確かなものにする。語彙を増やし、文法を理解し表現の感覚を磨く。対話力を向上させ、自分の言いたいことを表現できる豊かな表現力へと応用できる能力を養う。自分の言いたいことを表現できるコミュニケーションに対する意欲を持ち、自主的に話せるようになることを目的とする。</p> <p>授業方法: ダイアログの詳細な解説を行い、文法と構文、及び表現の指導をする。このことによって、ダイアログを容易に覚えらるようになる。発音の練習をし、表現を声に出して言う。声に出すことで覚えたダイアログを使用してみる。リスニングの指導を行う。TOEIC テスト形式の、派生語・適語選択・長文穴埋めの問題を解き、解説を行う。</p> <p>授業到達目標: 基本的・実用的な英会話の表現を覚え、話すことができる。語彙力を増強することができる。英語の構文・文法・表現について理解を深めることができる。美しい発音ができ、リスニングの能力を養う。表現を声に出して述べるができる。基礎を固めた上で、自分の言いたいことを表現できるようになる。適語選択問題により、語彙を増やし、文法を身に付け、表現の応用ができるようになる。英会話とコミュニケーションに対する関心・興味を持ち、各自が目標を定めて積極的に学習の場を求めていく態度を養う。学生生活に関する日常会話を通して、ダイアログの背景や、英米の文化の理解を深めることができる。また、各自の現在の能力をさらに向上させるようにする。</p>			
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>授業内容(概要) 学生生活に密着したテーマを中心とした、親しみやすいダイアログについて、CD を聴きながら、主要な表現・構文・文法の指導を行う。構文や文法を理解することが、会話での表現の習得においても、容易にして有効であるというアプローチを進めていく。英単語の発音の仕方を指導し、練習を行う。文全体の発音についても指導と練習を繰り返すを行い、定着を図る。さらに、ダイアログの表現を言えるように練習をし、覚え、ひいては話す能力を養う基礎を固めていく。また、話す能力と聴く能力は表裏一体であるという認識に基づいて、リスニングの方法を説明し、実践してみる。ダイアログの背景について解説する。英会話とコミュニケーションに対する意欲を持てるように指導していく。</p>			
第1回	導入・授業内容の説明	Unit 1	Campus Life 学生生活
第2回	Unit 2	Homestay	ホームステイ
第3回	Unit 3	Making Friends	友達を作る
第4回	Unit 4	At a Party	パーティーで
第5回	Unit 5	In the Cafeteria	カフェテリアで
第6回	Unit 6	In the Library	図書館で
第7回	Unit 7	Talking about the Weather	天気について話す
第8回	Unit 8	Making Telephone Calls	電話の会話
第9回	Unit 9	Weekend Activities	週末の予定
第10回	Unit 10	Driving	ドライブ
第11回	Unit 12	Shopping	買い物
第12回	Unit 15	At the Campus Bookstore	大学のブックストアで
第13回	Unit 19	Health	健康
第14回	Unit 20	Reservations	予約
第15回	まとめと定期試験		
<p>第1回の授業で、TOEIC テストの紹介と案内を行います。各自で目標を定め、試験に挑戦しましょう。 また、必ず予習をして授業に臨んで下さい。必ず単語の意味を調べ、各 Unit の問題を予め解いておきましょう。 毎日繰り返し練習し、復習を行うことが、学習効果を上げる為に重要です。</p>			
キーワード	大学生生活を中心とした英会話のダイアログ / TOEIC の問題形式と、その対策		
教科書・教材・参考書	TOEIC Test Fundamentals 『TOEIC テストの基本練習』 (クリストファー・ブルスミス 他 著: 南雲堂) 英和辞書(電子辞書)を必携すること。		
成績評価の方法・基準等	定期試験を筆記で行います。 主に定期試験の得点により評価します。それに授業中の活動を加えます。 定期試験90%、授業中の発表や活動10%を基準とします。 また、受講中の態度を非常に重視します。		
受講要件(履修条件)	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。 必ず予習をして臨んで下さい。		
本科目の位置づけ / 学習・教育目標	有用な日常会話を学び、役立てる。 TOEIC テストの対策を行う。		
備考(準備学習等)	必ず予習をして授業に出席して下さい。 予め英単語の意味を調べておき、問題を解いておきましょう。		